

# 1月

January

亀岡市の雲海

日	行事名	所在地	行事内容	頁
1	お正月		一年のはじめに、その年の幸福をもたらす歳神さんを迎える行事。各家では、米俵や一斗榊などに松の枝を立てたり、三方に洗米を敷いて、餅やミカンを飾るなど「トシトクサン」を飾り、正月を祝う。	P5 P6 P7 P8
3	福給会	穴太寺 (曾我部町穴太)	本堂で大般若経を転読する修正会のあと、その年の年男が本堂の前に設けられたヤグラから、福札3千枚を扇の風にまかせて散らす。福札の中に3枚ある赤札を拾えば1年の幸福を授かるという。	
3	歳振り	西山神社 (畑野町千ヶ畑)	その年の恵方に向かって、年番神主の発声により、稲穂をかたどった杉の穂と薄く伸ばした餅を飾り付けたシキビを振って、唱えごとをして初笑いする。今年の五穀豊穡を願う行事。	
7	七日正月		七草粥を炊いて祝う。七草粥を刻む時に「とんとんとんどのとりと、にほんのとりが、はりよりむこへわたらんさきに、けちおうてばたばた」などと唱えるところもある。	P9
15	小正月(とんど)		しめ縄・お礼などの正月の飾り物や餅、書き初め、竹などを燃やす(とんど)。このとんどの火で焼いた餅を食べると無病息災といい、とんどの灰や使用した竹は、魔除けになるという。	P9
15	粥占	出雲大神宮 (千歳町出雲)	小豆粥と竹筒3本を一緒に炊き、竹筒の中に入った粥の具合で、今年の稲の早稲・中稲・晩稲の作柄を占う行事。神事後、竹筒は、本殿の前に披露されるので、各自で作柄を判断する。粥は、椿の葉にくるみ、豊作祈願のお礼として配られる。	